

宿泊約款

【適用範囲】

第1条 1 ホテルマロウド筑波（以下当ホテルとします）が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

【宿泊契約の申し込み】

第2条 1 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本料金表による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約申し込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

第3条 1 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料金を限度として当ホテルが定める申し込み金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りします。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

第4条 1 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後、同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申し込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合、及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【施設における感染防止対策への協力の求め】

第4条の2 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

【宿泊契約締結の拒否】

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じることがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室（員）になり客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成30年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。

(7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。

(8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれがある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。

(9) 天災、施設の故障、やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(10) 茨城県旅館業法施行条例第11条の規定する場合に該当するとき。

【宿泊契約締結の拒否の説明】

第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由を求めることができます。

【宿泊客の契約解除権】

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により、当ホテルが申込金の支払い期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限りします。

3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（予め到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

【当ホテルの契約解除権】

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力。

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。

(4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。

(5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障がい者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。

(6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。

(7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させる事ができないとき。

(8) 茨城県旅館業法施行条例第11条の規定する場合に該当するとき。

(9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。

2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

【宿泊契約解除の説明】

第7条の2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

【宿泊の登録】

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、予め前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

【客室の使用時間】

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後4時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。
- この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間までは、室料相当額の 30%
 - (2) 超過6時間までは、室料相当額の 50%
 - (3) 超過6時間以上は、室料相当額の100%

【利用規則の遵守】

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

【営業時間】

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は当ホテルホームページ、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内します。

- (1) フロントサービス 24 時間
- (2) レストラン
 - a. 朝食 午前 7時00 分から午前 9 時30 分まで
 - b. 昼食 午前11 時30 分から午後 2 時00 分まで
 - c. 夕食 午後 5 時00 分から午後10 時00 分まで
 - d、バー 午後 5 時00 分から午後10 時00 分まで
 - e、ティーラウンジ 午前 10時00 分から午後 5時00 分まで
- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法を以ってお知らせします。

【料金の支払い】

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料等の内訳は、別表1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

【当ホテルの責任】

- 第13条 当ホテルの宿泊に関する責任は、宿泊客が当ホテルのフロントにおいて宿泊の登録を行ったときに始まり、宿泊客が出発するため客室を空けたときに終わります。
- 2 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 3 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。
- 4 宿泊客が客室の鍵を紛失されたことによって万トラブルが生じたとしても、当ホテルは一切責任を負いかねます。

【契約した客室の提供ができないときの取り扱い】

- 第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあつ旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあつ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

【寄託物等の取り扱い】

第15条 当ホテルでの滞在中、現金及び貴重品はフロントにお預けになるか、自己の責任の下、嚴重に管理してください。当ホテルは、宿泊客の責めによる現金と貴重品の損失、損害又は窃盗に関しては一切責任を負いかねます。

- 2 宿泊客がフロントにお預けになった現金及び貴重品に滅失、毀損等の損害が生じた場合、不可抗力その他当社の責めによらない場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、当ホテルが現金及び貴重品の種類及び価額の明告を求めたにもかかわらず宿泊客がそれを行わなかったときの当該賠償額の上限は15万円とします。
- 3 美術品、骨董品などの損壊し易い品物は、一切お預かりできません。

【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。なお、貴重品、生もの、壊れ物はお預かりすることができません。また、事前に宿泊日、宿泊者名の連絡がなく宿泊予約が確認できない場合は、到着した荷物の受け取りを拒否、または、配送元へ返送等の対応を行います。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられた場合において、所有者の指示がない場合は、発見した日から一定期間当ホテルで保管し、その後は遺失物法に基づいて取り扱います。ただし、飲食物及び雑誌並びにその他の廃棄物に類するものや一般慣習等に則して当ホテルが判断したものについては、チェックアウトの翌日までにご連絡がない場合には、当ホテルにて任意に処分いたします。

3 当ホテルは、置き忘れられた手荷物又は携帯品について、内容物の性質に従い適切な処理を行うため、その中身を任意に点検し、必要に応じ遺失者への返還又は前項に従った処理を行うことができるものとし、宿泊客がこれに異議を述べることはできないものとします。

- 4 本条1～3項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、第2項又は第3項の場合にあつては前条2項の規定に準じるものとします。

【駐車責任】

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任までも負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害をあたえたときは、その賠償の責めに任じます。

【宿泊客の責任】

第18条 宿泊者の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

- 2 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、宿泊者自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信の利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果、利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用にあたり当ホテルが不適切と断じた行為により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その害は、宿泊者がホテルに賠償を行うものとします。

【支配する言語】

第19条 本約款は、日本語と英語で作成されますが、約款と翻訳文の間に不一致または相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

【準拠法】

第20条 本約款に関して生じる一切の紛争については、日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第 1

宿泊料金等の算定方法（第 2 条第 1 項及び 1 2 条 1 項関係）

宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料金〔室料（または室料＋朝食料）〕
	追加料金	飲食料または追加飲食（朝食以外の飲食料） およびその他の利用料金
	税金	消費税

備考 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第 2

違約金（第 6 条第 2 項関係）

契約解除の通知 を受けた日 契約申込人数		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	80%	20%		
	15～99名まで	100%	80%	20%	10%	
団体	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

注意

1. %は基本宿泊料金に対する違約金です。
 2. 契約日数を短縮した場合は、その短縮日程に関わりなく、1 日分（初日）の違約金を収受します。
 3. 団体客（1 5 名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 1 0 日前（その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の 1 0 %（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については違約金はいただきません。
- ※上記違約金は、基本違約金であり別途宿泊契約および特定の Web サイトなどの違約金規定が優先される場合があります。

Terms and Conditions for Contracts

[Scope of Application]

Article 1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between Hotel Marroad Tsukuba(hereinafter referred to as “the Hotel”) and the Guest to be accommodated shall be subject to these Term and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by the laws and regulations, etc, (laws and regulations or based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) are applicable and/ or generally accepted practices.

2 When the Hotel enters into a special contract with the Guest, as far as such a special contract does not violate the laws and regulations, etc and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these terms and conditions.

[Application for Accommodation Contracts]

Article 2 A Guest who makes an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following:

- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No.1); and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2 When the Guests request, during their stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such a request is made.

[Conclusion of Accommodation Contracts, etc.]

Article 3 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, this does not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel. This is within the limits of the Basic Accommodation Charges, covering the Guest entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6, and thirdly for compensation under Article 18, if applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, this applies only when the Guest has been informed by the Hotel of the deposit payment deadline.

[Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit]

Article 4 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.

2 When the Hotel does not request payment of at the time of the application, it shall be assumed that the Hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding paragraph.

[Request for Cooperation in Infection Prevention Measures at the Hotel]

Article 4

2 The Hotel may request persons seeking to stay the Hotel for their cooperation under the regulation of Article 4, Paragraph 2, item 1, of the Hotel Business Act (Act No.138 of 1948).

[Refusal of Accommodation Contracts]

Article 5 The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse to accommodate guests in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guests seeking accommodation is deemed liable to conduct themselves in a manner that will contravene the laws or act against public order or good morals during their accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following (a) to (c);
 - (a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members

- (Act No. 77 of 1991) stipulated by the same law Article 2, item 2 (herein after referred to as “gang group”), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces;
- (b) When gang group or members are associates of corporations or other bodies to control business activities;
 - (c) When a corporate body has board members who related persons to gang members;
- (5) When a person seeking accommodation’s language and behavior caused of other Guests’ significant nuisance.
 - (6) When a person seeking accommodation is a patient, etc. (hereinafter patient with a specific infectious disease, etc) of specific infectious disease as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Act;
 - (7) When a violent demand is made or requested to assume an unreasonable burden in regard to their accommodation; (Except cases a person who attempting to stay request to remove social barriers stipulated in Article 7, Paragraph 2, or Article 8, Paragraph 2 of Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities Act No. 65 of 2013 (hereinafter Disability Discrimination Elimination Act)).
 - (8) When a person seeking accommodation repeats certain acts stipulated in Article 5, Paragraph 6, of the Hotel Business Act (Act No.138 of 1948) that the implementation causes excessive burdens to the Hotel and impede other guests’ service provision, significantly;
 - (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes; or
 - (10) When the provisions of Article 11 of the Ibaraki Prefectural Ordinance are applicable.

[Explanation for Refusal of Accommodation Contracts]

Article 5-2

A person seeking accommodation may ask for reasons to the Hotel, when the Hotel does not conclude an accommodation contract based on the previous articles.

[Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest]

Article 6 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2 When the Guest cancels the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except when the Hotel has requested payment of

the deposit during the specified period as prescribed in Article 3, Paragraph 2, and the Guest cancels before the deadline), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the attached Table No.2. However, when a special contract as prescribed in Article 4, Paragraph 1, has been concluded, the same shall apply only when the Guest has been informed the obligation to pay the cancellation charges.

3 When the Guest does not appear by 8:00 p.m. on the accommodation date, or 2 hours after the expected time of arrival (unless special notification has been received), the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled.

[Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel]

Article 7 The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following case: However, this clause does not mean the Hotel may refuse the accommodation except cases stipulated in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the Guests are deemed liable to conduct and/or have conducted themselves in a manner that will contravene the laws or act against public order or good morals during their accommodation;
- (2) The Guest is admitted as the following (a) to (c):
 - (a) A gang group, a gang member, a semi-regular gang member, or other antisocial forces.
 - (b) When gang group or members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 - (c) When a corporate body has board members who related to gang members.
- (3) When the Guest's language and behavior caused other guests' significant nuisance;
- (4) When the Guest is a patient, etc with a specific infectious disease;
- (5) When a violent demand is made or requested to assume an unreasonable burden in regard to their accommodation; (Except cases a person who attempting to stay request to remove social barriers stipulated in Article 7, Paragraph 2, or Article 8, Paragraph 2 of Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities Act)
- (6) When the Guest repeated certain acts stipulated in Article 5, Paragraph 6, of the Hotel Business Act that the implementation causes excessive burdens to the Hotel and impede other Guests' service provision, significantly;
- (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes beyond its control;
- (8) When the provisions of Article 11 of the Prefectural Ibaraki Ordinance are applicable; or

- (9) When the Guest does not observe house rules such as smoking in bed, pranks to fire extinguishing equipment, other usage rules or prohibitions that the Hotel stipulated (restricted necessary ones for fire prevention).
- 2 The Hotel does not require accommodation service charges, etc, that the Guest has not received yet, when the Hotel refuses an accommodation contract based on the above articles.

【Explanation for cancellation of accommodation contracts】

Article 7-2

In the case when the hotel cancels the accommodation contract based on the preceding article, the guest may request an explanation of the reason.

【Registration】

Article 8

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of arrival;

- (1) Name, home address and contract information.
 - (2) Except Japanese who do not have an address in Japan, nationality and passport number.
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay their accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

【Occupancy Hours of Guest Rooms】

Article 9.

1. The Guest is entitled to occupy the contacted guest room of the Hotel from 4:00 p.m. to 10:00 a.m. the next morning.

However in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph.

In this case, extra charges shall be paid as follows;

- (1) Up to 3hours : 30% of the equivalent in the sum to the room charge.
- (2) Up to 6hours : 50% of the equivalent in the sum to the room charge.
- (3) More than 6hours: 100% of the equivalent in the sum to the room charge.

【Observance of Use Regulations】

Article 10.

The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within premises of the Hotel.

【Business Hours】

Article 11.

The business of the main facilities, etc. of the Hotel are as follow and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by the Hotel homepage, notices display in each, service directories in guest rooms and others.

(1) Service hours of Front Desk.: 24 hours

(2) Restaurants

- a. Breakfast: 7:00~9:30
- b. Lunch : 11:30~14:00
- c. Dinner: 17:00~22:00
- d. Bar : 17:00~22:00
- e. Tea Lounge:10:00~17:00

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary change due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

【Payment of Accommodation Charges】

Article 12.

The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table NO.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

3. Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for them by the Hotel and are not their disposal.

【Liabilities of the Hotel】

Article 13.

The Hotel's responsibility for accommodation begins when the guest registers for accommodation at our front desk and ends when they vacate the guest room for departure.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and or related agreements. However, the same shall not apply in case when

such damage has been due to reasons for which the Hotel is not liable.

3. The Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.
4. The hotel shall not be held responsible for any troubles that may occur due to the Guest losing their room key.

【When the Reserved Room is not available】

Article 14.

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest in so far as practicable with the consent of them.
2. The arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charge and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate them.

【Handling of Deposited Articles】

Article 15.

During the stay at the Hotel, the Guest shall leave their cash and valuables at the front desk or keep them under strict control at their own risk.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damages, when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to caused of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report the kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to the maximum of 150,000yen.
3. The Hotel shall not accept any items that are easily damaged, such as works of art or antiques.

【Custody Baggage and/ or Belongings of the Guest】

Article 16.

When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before their arrival, the Hotel shall be liable to keep in only when a request to keep such be handed over to the Guest at the front desk at the time of their check-in. The Hotel do not accept the item, such as works of art, antiques and perishable food. If the Hotel is unable to confirm

their accommodation reservation without contacting them in advance with the date of their stay and the name of them, the Hotel will refuse to accept them package or return it to the delivery source.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after their check-out, if there is no instruction from the owner, the item will be kept at the hotel for a certain period of time from the date of discovery, and thereafter it will be handled in accordance with the lost property law. However, food, drinks, magazines, and other items that are similar to waste or items that the hotel determines in accordance with general customs, etc., will be disposed of at our discretion if we are not contacted by the day after check-out.
3. In order to properly dispose of left behind baggage or personal effects according to the property of the contents, the Hotel may inspect the contents at its discretion and, if necessary, return them to the person who lost them or dispose of them in accordance with the preceding paragraph and the Guests may not object to this.
4. In the case of Paragraphs 1 to 3 of this article, the hotel's responsibility for the storage of the their baggage or personal effects shall be in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1. In such cases, the provisions of paragraph 2 of the preceding article shall apply.

【Liability in regard to Parking】

Article 17.

The Hotel shall not to be liable for the custody of the vehicle of the Guest, when they utilize the parking lot within premise of the Hotel, as it shall be regarded that hotel simply offers the space for parking., whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damages caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the Management of the parking lot.

【Liability of the Guest】

Article 18.

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the guest.

2. Guests shall use computer communications from within the Hotel at their own risk. The Hotel shall not be held responsible for any damage sustained by the user as a result of interruption of service due to system failure or other reasons while using computer communication. If damage is caused to the Hotel or other people due to

conduct that the Hotel deems inappropriate when using computer communications, the Guest shall compensate the hotel for such damage.

【Domination of Language】

Article 19.

These Terms and Conditions are written in Japanese and English; however, in the event of any inconsistency or discrepancy between the Terms and Conditions and the translated version, the Japanese language shall control in all respects.

【Governing Law】

Article 20.

Any disputes arising regarding these terms and conditions shall be resolved in Japanese courts in accordance with Japanese law.

Attached Table No.1

Calculation method for Accommodation Charges etc. for Hotels.

(Ret. Paragraph1 of Article2, Paragraph 1of Article12)

Total Amount to be paid by Guest	Accommodation charges	Basic Accommodation Charge [Room charge(or Room Charge + Breakfast)]
	Extra Charges	Meals & Drinks and Others Expenses (Food and Beverages Excluding Breakfast)
	Tax	National Consumption Tax

If any tax regulations are revised, the relevant tax will be charged accordingly.

Attached Table No: 2

Cancellation Charge. (Ref. Paragraph 2 of Article6.)

		Date when Cancellation of Contract is Notified				
Contracted Number of Guest		No show	Accommodation Day	1 Day Prior to Accommodation Day	9 Day Prior to Accommodation Day	20 Day prior to Accommodation Day
Individual	1 to 14	100%	80%	20%		
Group	15 to 99	100%	80%	20%	10%	
	100 and more	100%	100%	80%	20%	10%

Remarks:

1. The percentages signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation charges.
2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date.) with fractions counted as a whole number.